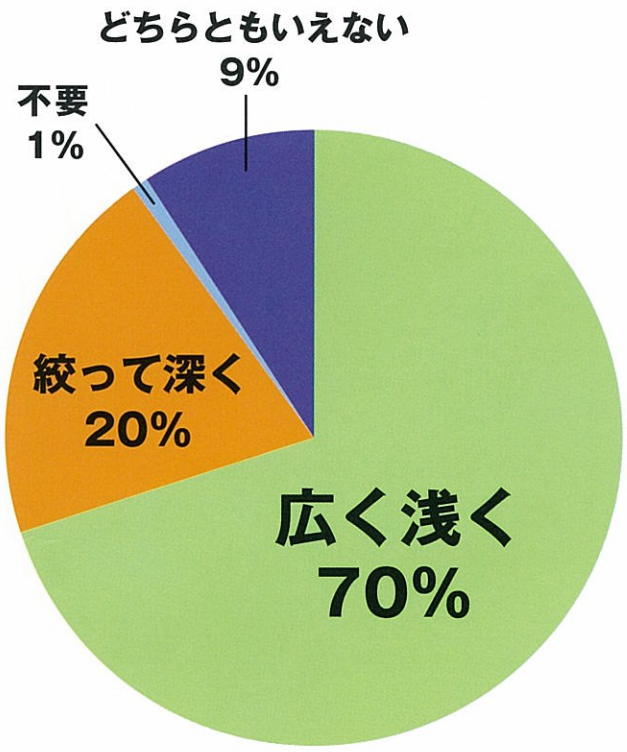
全国の就職課の方に聞きました！

どう進めたらいいの？業界研究

7割が「広く浅く」と回答！その理由とは…



「どちらともいえない」の声

「広く深く」が理想。

自分の目指す業界について深く研究するのは当然ですが、同時に社会全般について広い視野を持つことも大切です。

「不要である」の声

あえて不要といいたい。動いてから研究しても良い。

業界研究できていないという理由から、動けないとか、就活をしない学生を見るにつけ、逆説的ではあるが、不要を言いたい。動いてから、研究しても良いのではないか。

「絞って深く」の声

専門分野を深く研究したなら、絞りこんだほうがいい。

専門分野を深く研究した学生なら、広く浅く業界研究を進めていたら、逆に絞り込むことが難しくなる。

徹底的に深く行うべきです。

他の業界、他の企業との関係が見えてきます。「ビジネス」の視点に立てば、選択肢も広がります。

「広く浅く」の声

ミスマッチ防止と面接に有効。

1. 学生の将来のためにも、広く社会勉強をした方が、間違い（ミスマッチ）が起こる可能性が減る。
2. 面接時のアピールになる。人事から見て、その方が説得力が増すため。

「業界研究は浅く広く、企業研究は深く詳細に!」

現時点での興味や好みで業界選択をしてしまうのは、最初で最大の失敗です。

自分の可能性を広めるため。

就職に困っている学生はみな業界研究を狭く行っている傾向にある。

広く知るために、業界地図を眺めて見ましょう。

世の中には多くの知らない業界があることをまずは一般常識として学んでほしい。

広く研究しているうちに、企業から望まれる人間に!

就職活動は体験学習です。広く研究しているうちに、知識も発達し、自分自身が企業から望まれる人間に成長していきます。

色々な業界を知るとやりたいことが見えてくる。

学生の皆さんが知っているのは、極一部の業界。業界を知らないとやりたいことがわからない。色々な業界を知ることが進路選択につながっていくため。

亜細亜大学
キャリアセンター　課長　五味さん

まずは広く業界を知ることからはじめましょう。

興味を持った企業から業界研究ができる可能性もあります。自分の知っている企業だけではなく、まずは知ることからはじめ、順番に絞っていくのがよいと思います。

金城学院大学
キャリア支援センター　課長　原田さん

志望動機を書く時は深く、その前にまずは広く。

志望動機を書くにあたっては「絞って深く」業界研究する必要があると思います。その前段階として「広く浅く」業界を知る必要があるのではないでしょうか。

大阪商業大学
キャリアサポート室　室長　新井さん

【調査概要】
調査期間：2008年7−8月
有効回答：175件

en 就職ニュース

第５号

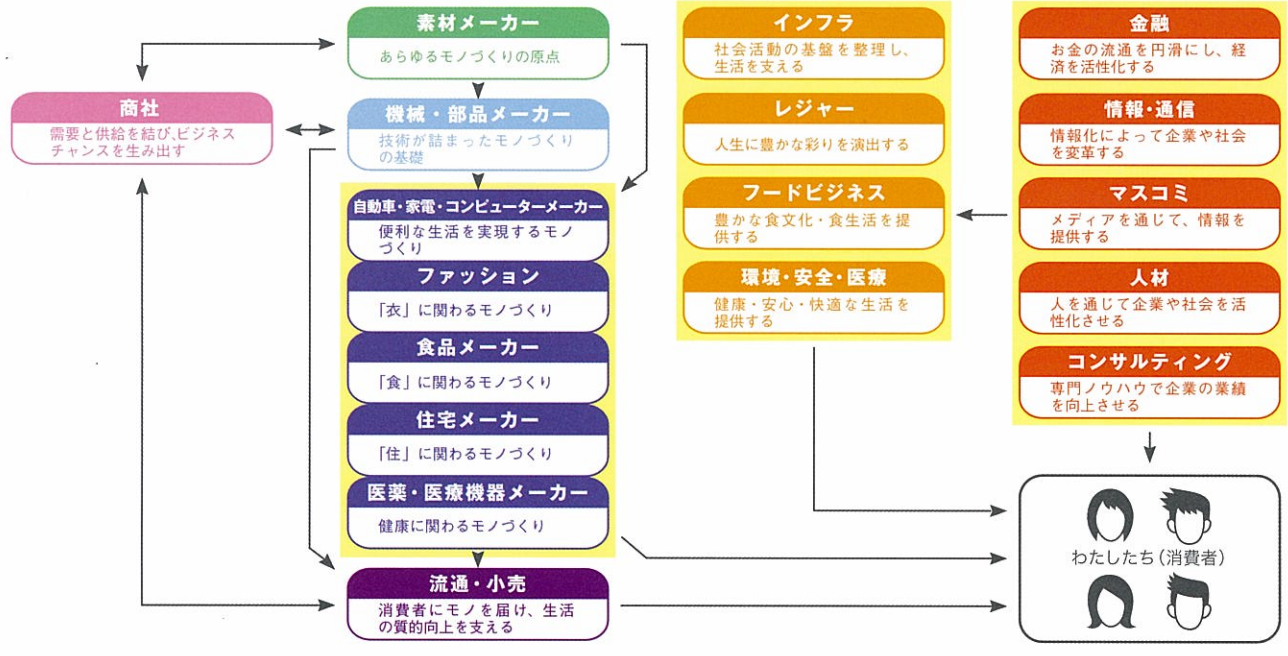
[en]就職ニュースは、就職課限定の壁新聞です。就職に関連したフレッシュな情報を定期的にお届けします。是非また見に来てください！

発行：エン・ジャパン株式会社
所在地：東京都新宿区西新宿6-5-1
お問合せ：[en]学生の就職情報
Eメール：gakusei10-info@en-japan.com
フリーダイヤル：0120-956-669

本誌の記事・デザインの無断転載を禁じます。

ひと目でわかる、業界MAP

業界どうしはつながっている。それぞれの役割をチェックしよう！



未来の選択肢が広がる！業界研究をしよう！

業界ってなに？
会社の事業の特長や社会での役割によって、分類されたグループのこと。業界研究をすることで、志望の選択肢が広がります。

どうして業界研究が必要なの？
偏った企業知識で、選択肢を狭めてしまわないため。本当に自分に合った一社を、選び出しましょう。

どうやればいいのですか？
出来るだけ多くの情報源から情報収集しましょう。また、興味のある商品やサービスから視野を広げることも有効です。

▶ 次号は11月中旬発行予定。就活に関する旬な情報を、アンケート結果をもとにお伝えします！ご期待ください！

1日で業界研究が進むイベント開催！詳しくはサイトから！
『プロの仕事研究カンファレンス』　東京11/23・大阪11/15・名古屋11/24 ほか。

en [en]学生の就職情報 2010

http://gm.enjapan.com
今すぐケータイでチェックしよう▶